

工事写真報告書

工事番号 平成 26 年度

工事名 M様邸

工事箇所 外壁・その他 塗装工事一式

工事住所 下関市 吉見本町

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム 株式会社



外観



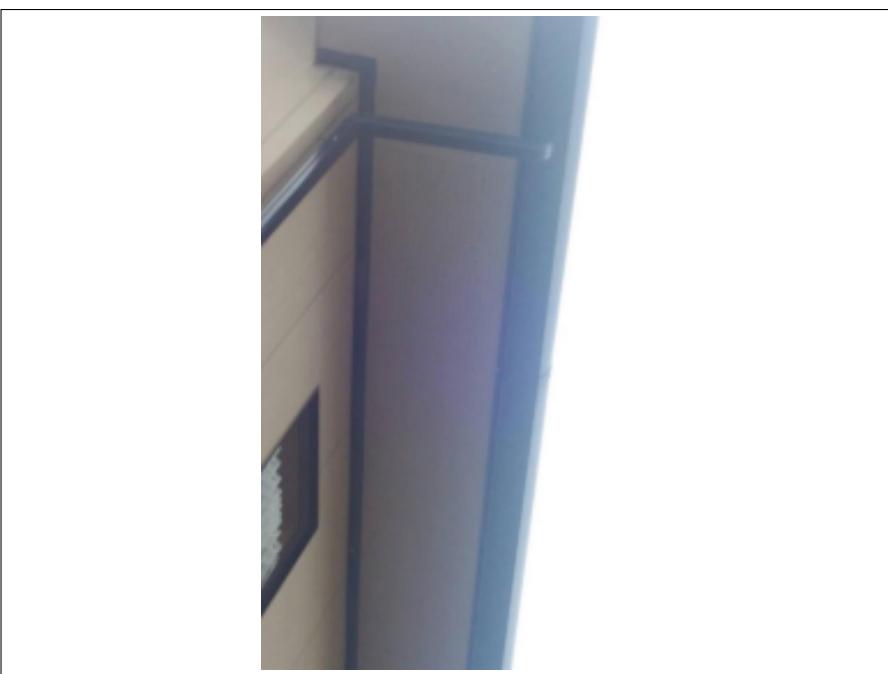
外観



外観



外観

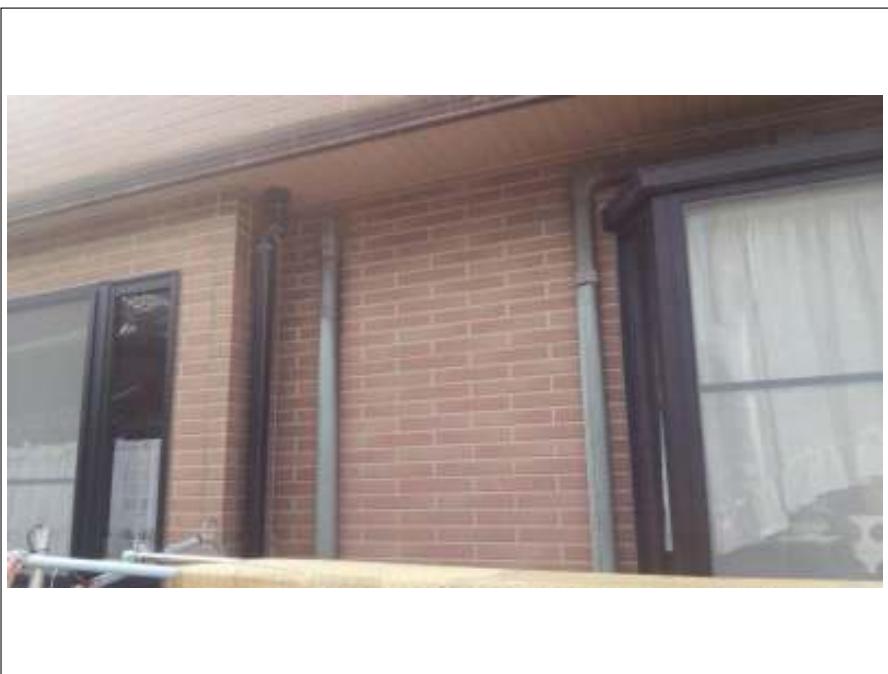


軒天

経年劣化しています。

この部分はお住まいの雨漏れとかが
分かる部分でもあり大事な所です。

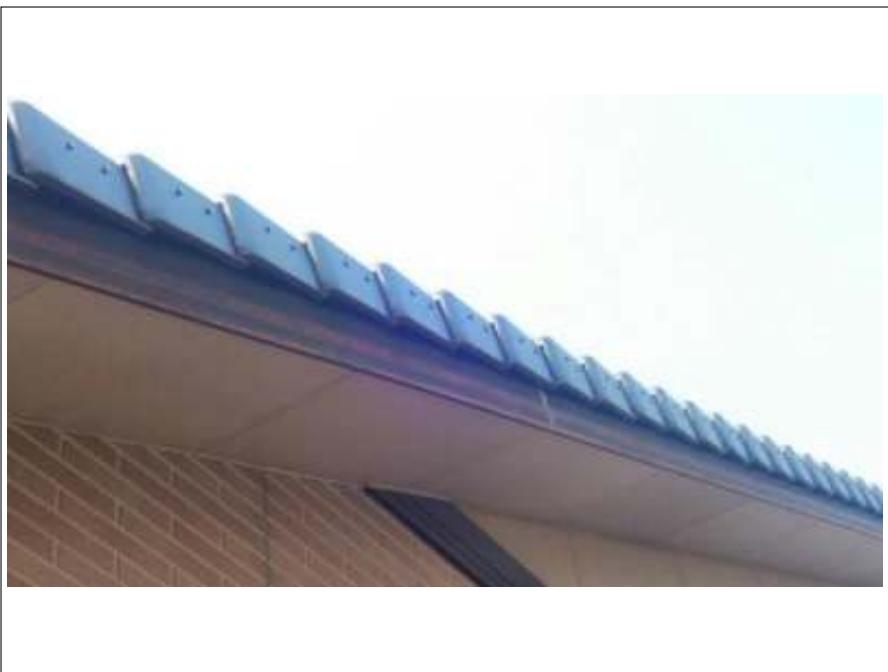
この部分は軒天専用の塗装を二回し
ていきます。



樋・ダクトカバー

こちらは塩ビ素材になります。

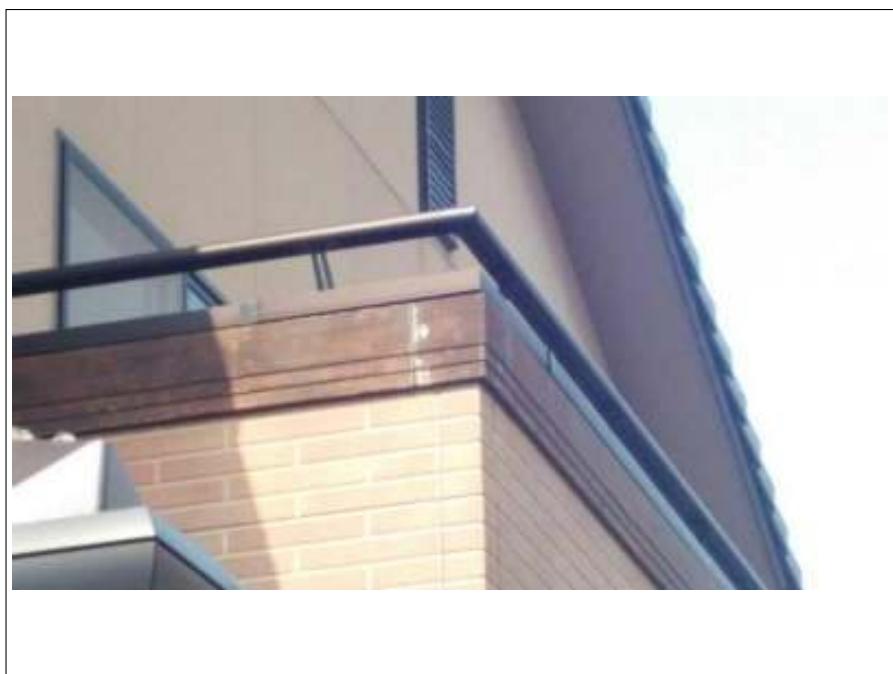
劣化すると割れが生じてきますの
で、塩ビ専用の下塗りをおこない塗
装をしていきます。



破風

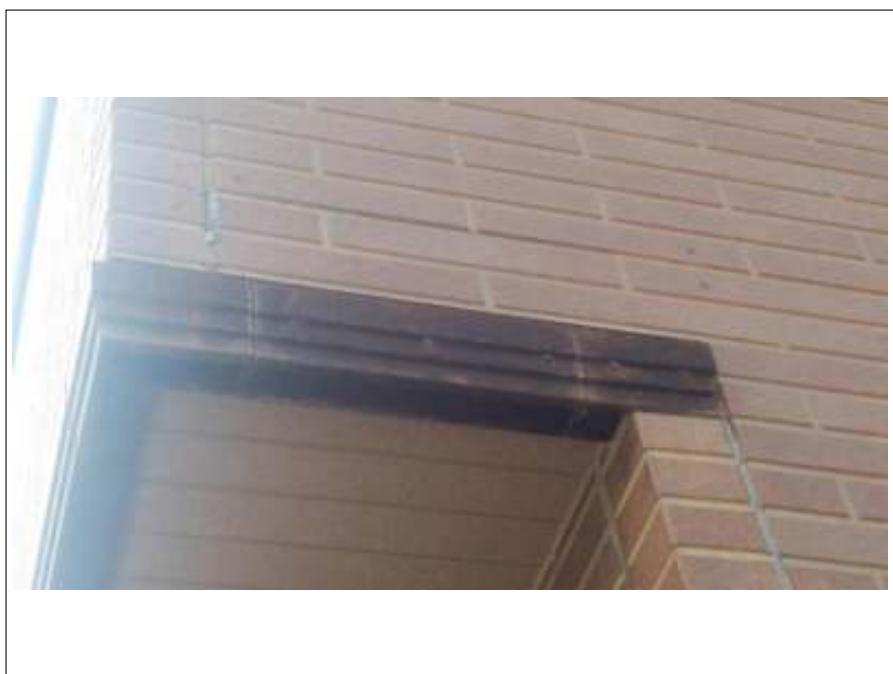
経年劣化しています。

こちらは下地処理・下塗りをおこない塗装をしていきます。



胴差し

同上



胴差し

同上

換気フード

こちらは鉄・スチール素材になります。

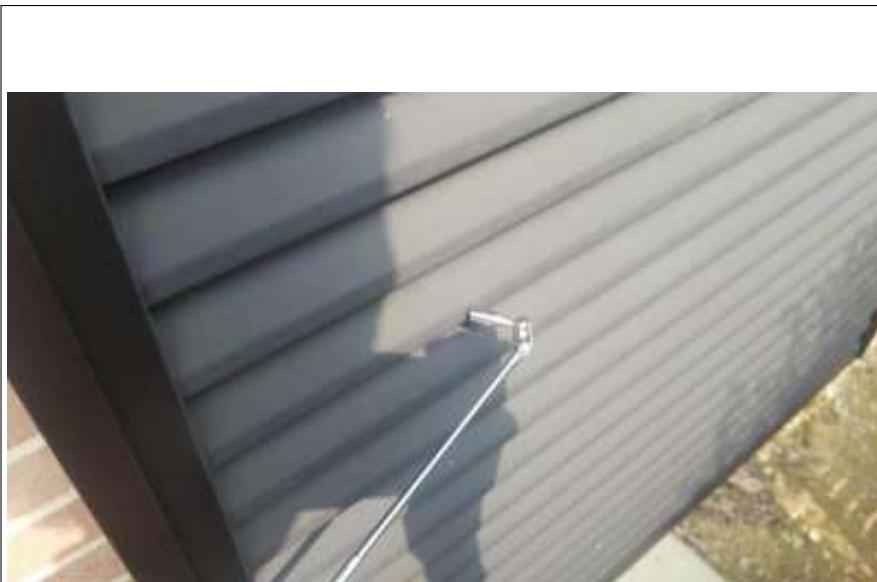
劣化するとサビが発生し腐食してきますので、早めの塗装をお勧めします。



シャッター

対処方法

サビの発生している部分にいくら塗装をかけてもすぐにサビが表面化してきますので、サビが発生している部分はケレン作業でサビを落とし、サビ止め下塗りを行い塗装を行います。



ダストBOX

同上



基礎 劣化部

コンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することにより中性化し、クラックの発生や内部の鉄筋の腐食が促進され、鉄筋の体積膨張により爆裂等を起こしてしまい構造物全体の寿命や性能低下を生じてしまします。

基礎 劣化部

0, 3mm以上のクラックは補修等が必要です。

チヨーキング現象

塗装表面が紫外線や水分や熱等により、塗装表面の樹脂が劣化しチヨークの粉状のような現象。この状態になると表面から雨水や湿気を吸い込む状態になり、外壁材の痛みや躯体の劣化つながりますので早めの塗装をお勧めします。

サッシ廻りシーリング劣化部

見落としがちですが、この部分からも雨水や湿気が侵入し外壁からの雨漏れにつながりますので、劣化している部分はシーリング打ち増しをおこない、塗装をしていきます。

サッシ廻りシーリング劣化部

同上

サッシ廻りシーリング劣化部

同上

外壁 反り

塗膜が劣化し雨水を吸って乾いてを繰り返し、外壁材が反ってきてています。

一度反ると反りは戻らないですので、これ以上反りが大きくなる前の塗装をお勧めします。



シーリング劣化部

劣化している部分があります。

この部分から雨水や湿気、炭酸ガスが侵入してき、外壁材の痛みや躯体の劣化につながりますので、劣化している部分はシーリング打替え・打ち増しをおこない塗装をしていきます。



シーリング劣化部

同上

